


横芝町の人口と世帯

< 9月30日 現在 >

人 口	12,671 (+38)
男	6,083 (+14)
女	6,588 (+24)
世帯数	3,077 (+ 2)

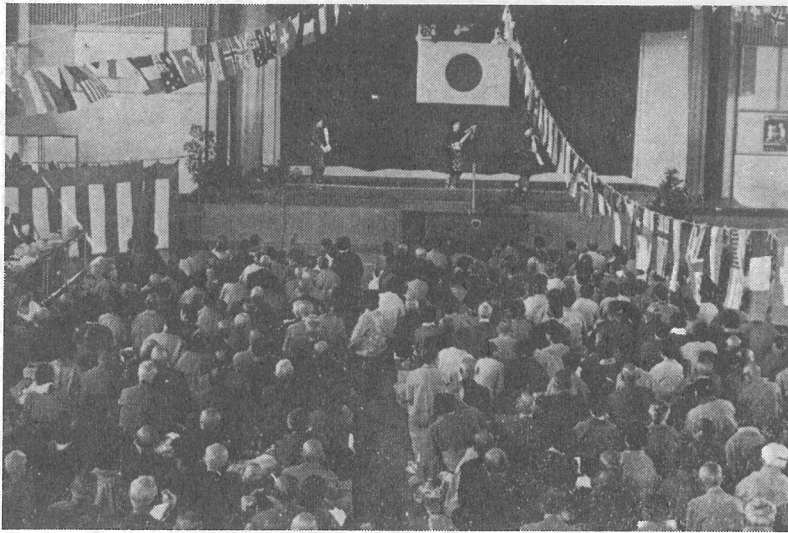
() 内は前月比



横芝

広報

発行所
山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(代)
郵便番号 289-17



熱心に余興に見いるお年寄り

横中体育館で

70才以上高令者の

長寿を祝う

七十才以上の高令者八九三年に一度のこの日を待ちわび名を招待して、恒例の敬老会が、十月十四日横芝中学校体育館で開かれました。

たお年寄達は、町からの迎へのバスにゆられ続々と会場へ到着し広い体育館を埋めつく

しました。式は、午前十時に開会され、町長の式辞、社会福祉協議会長のあいさつのおと九十才以上長寿者の紹介、八十五才以上者に記念品、結婚五十周年をむかえたご夫婦に記念色紙が贈られたあと来賓の祝辞、高令者代表の謝辞があり式を終りました。いよいよ本番の慰安演芸にうつり、各保育所の可愛いお孫さん達の踊り、婦人会及び公民館舞踊クラブの素人離れした踊りなど盛りだくさんの演芸が次々と披露され、なかでも鳥喰下神楽保存会の皆さんの笛と太鼓に合わせ飛び入りで踊るおじいさんも現れ、会場は終始笑いと拍手につつまれ楽しい一日を過ごしました。演芸は予定どおり三時すぎ終了致しましたが、全町のお年寄が一堂に集っているためかなごりを惜しむ人も多く、来年もまた元気な姿でこの会場でお目にかかりましょうとちかい、盛会のうちに散会いたしました。

今年、金婚式をむかえられた次の二十一組のご夫婦には、千葉県知事からの記念色紙と町と社会福祉協議会から丸額が贈られました。

伊藤 藤一・たか 木戸台
佐久間 義一・イツ 〃
吉岡 重良・いね 姥山
五木田 左京・ヨシ 遠山
鈴木 武司・と志 牛熊
勝又 孝次・よも 谷台

火災から人命と

財産を守ろう

26日から火災予防週間

いよいよ本格的な冬に入り空気がたいへん乾燥すると同時に、火気を使う機会が多くなって火災発生が増える季節です。今年も火災の発生防止と人命損傷事故をなくすために十一月二十六日から全国的に秋の火災予防運動が行われます。各ご家庭におきましては充分火気の取扱いに注意して貴重な財産、人命を火災から守りましょう。

- ▼ 全国統一標語 火災予防には、特に次の事項に心掛けましょう。
- ▼ 歩いているときのくわえたばこは絶対にやめましょう
 - ▼ たばこは、完全に消してから吸いから入れにいらせましょう
 - ▼ 自動車からのたばこ、マッチの投げ捨てはやめましょう
 - ▼ 寝たばこは自粛しましょう
 - ▼ 暖房器具の取扱いは、細

- 佐々木 節・志も 小堤
 - 伊藤 嘉雄・千代 於 幾
 - 井上新太郎・とよ 本町三
 - 片岡 米吉・き美 東町一
 - 若梅 静・くに 栗山二
 - 小関文四郎・きい 鳥喰上
 - 早川栄三郎・さと 宮前
 - 伊藤竹太郎・よし 南川岸
 - 宇都木徳志・いと 入間
 - 斉藤 重良・トリ 東
 - 大木 浅吉・スカ 東町四
 - 今井佐吉・いほえ鳥喰新田
 - 浅野 銀・きさ 西
 - 伊藤 文平・シナ 東
- また、八十五才以上者四十三名には座椅子、九十才以上の高令者、二十名には座布団が、町及び社会福祉協議会から贈られました。

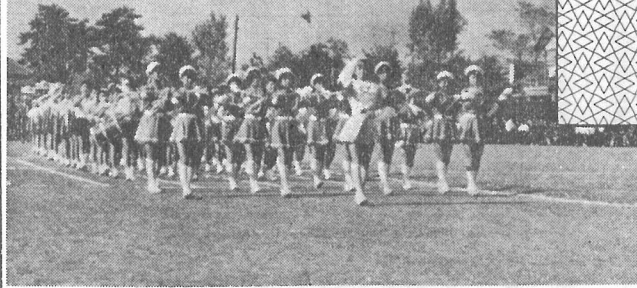
あなたの不注意から大事な財産が灰になる



心の注意をしましょう

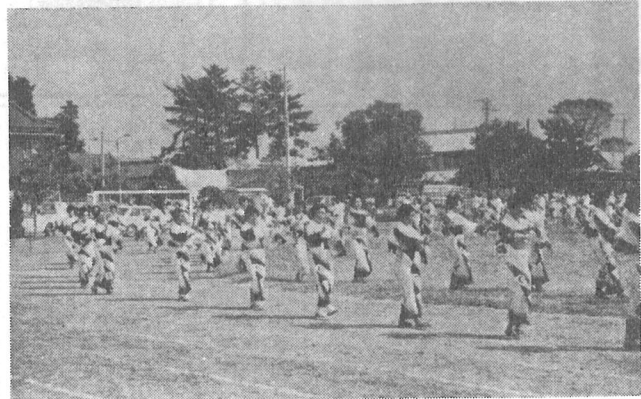
- ▼ 子供の火遊びは絶対にさせないようにしましょう
- ▼ 外出するときや、おやすみ前には必ずもう一度火のものを確かめましょう

汗と埃にまみれ 町民体育祭開く



入場行進を先導する横小鼓笛隊

秋晴れの絶好のスポーツ日和に恵まれて、町民の祭典、第四回町民体育祭は十月十日体育の日に横芝中学校グラウンドで盛大に行われました。午前九時、横芝小学校校鼓笛隊の先導で国旗、町旗、体協旗その後、今大会の運営にあたる役員団、更に選手団と堂々の入場行進が行われました。開会式は、横中ブラスバンドの演奏する君が代のもと国旗、町旗、



婦人会総勢400名によるマスゲーム

体協旗と青空高く掲揚され、つづいて大会会長のあいさつ、審判長の指示、選手宣誓などがあつて競技が開始されました。今大会から町民体育祭も趣向をかえて、小学生、中学生、PTA、婦人会、青年団、消防団、総務員、老人クラブ、一般と各階層別に競技をす

ることとなり思い思いの楽しい競技が展開されました。中でも婦人会の豊年万作カボチャ送りレース、総勢四百名でグラウンドいっぱいになりひろげられたマス・ゲーム等はスタンドの観衆を湧かせ大気分を一層盛りあげました。最終レースの優勝旗争奪戦は地区別対抗リレーにより決することとなり第二ブロック(東町、栗山地区)が他のブロックをおさえて優勝しました。汗と埃にまみれ二十四種目にわたって展開された競技も午後三時過ぎ一切終了し、町民の祭典の幕を閉じました。

国民年金 保険料の納め 忘れはありませんか

国民年金保険料の本年度分の最終納期限は、翌年の四月三十日です。この期日を過ぎますと、直接社会保険事務所へ納めるか、納付書により銀行や郵便局に納めることになり大変手数がかかります。もし納期限までに納めていませんと、ケガをしたり、一家の働き手であるご主人が亡くなったりしたというような不測の事故が発生したときに障害者年金や母子年金などに受けることが出来なすし、六十五才になっても老令者年金を受けることが出来ないといいことにもなりかねません。もう一度納め忘れの保険料がないかどうか確認しましょう。

統計功労者

表彰さる

去る十月二十日千葉市教育会館で開かれた第十六回千葉県統計大会で統計功労者として、本町から次の調査員五名が表彰されました。

- 千葉県知事感謝状
上町 藤代 忠夫
三軒家 伊藤 幸夫
鳥喰下 市原 文夫
千葉県統計協会会長賞
姥山 伊藤 利雄
千葉県郡統連会長賞
新青 伊藤 裕之

ハンターの皆さん 銃の取扱は慎重に

十一月一日から狩猟が解禁、善の事故防止で明るい猟期になり、ハンターにとっては、を過ぎましょう。

待ちに待ったシーズンの到来 ①猟場以外では、必ず銃をです。狩猟は趣味を生かした サックの中に入れて持ち歩きます。最近 歩く。

②禁猟区、保護区など禁止
③日の出前、日没後その他
④銃は、他人はもちろんな
⑤人家のある方向には発砲
⑥狩猟が終っ
⑦銃は弾と別

横芝の碑

(その二)

多古の殿様もお詣り

(栗山川畔の庚申様)



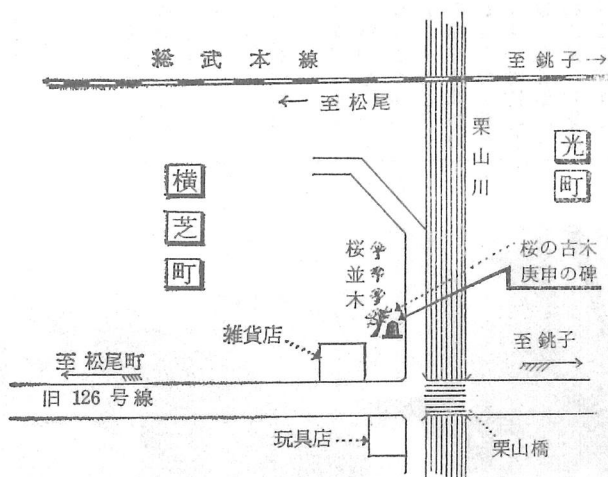
路端に露座し給う石像等には極めて素朴であり、またそれだけにお姿や文字のはっきりしないものが多いようです。

ところが旧国道栗山橋袂の庚申様のお姿や文字は極めてはつきりと刻まれています。

昔、と言っても大正末期のことですが、その頃の栗山川は蛇行が烈しく橋の辺りは大分光町の方に曲っていました。そして鈴村屋雑貨商(当主土屋勝敏さん)と川の間には卵屋と呼ぶ家がありました。

た。傍には周囲三メートルにも及ぶ楠の大木が繁っていました。その根元に祀られていたのがこの庚申様でした。丁度此処は多古の殿様が船付場に定められていたので乗船の度にお詣りをされたという由緒を持っておりましたし、この庚申様はその合座等に大人が足を掛けると必らず神罰を被るがそれが子供の場合は何のお咎めもない。また、庚申様をお祀りした寛政の頃から、この上流約五〇〇メートルの間は例え川に落ちた人は有

庚申様附近略図



っても溺死者はいない、という言伝えもあり、それにこの碑は橋本の人達が講中をつくって建立した。という経緯もありましたので元の場所から余り離れない此処に御遷座申上げたのです。

庚申様は青面金剛神(病魔や悪鬼を跳梁させる悪神でしたが、鬼大神と斗って降伏し、以来病魔を退散させる有り難い神に化神したといわれています)の俗称で、三つ目の六本の腕を有しておられ、天の邪鬼(人の世の事総てに逆う臍曲りの悪神)を両足で踏み付け、忿怒相(ふんぬそう)を備えられて、三猿(三匹の猿が、それぞれ、目、耳、口を両手で掩い、「見ざる、聞かざる、言わざる」と寓したものを)を従えています。栗山川畔の碑面に刻まれた庚申様の立像もそうした一般的なお姿ではありますが何と言ってもその精巧な石鑿の芸術には目を見張ります。写真はほぼ正面からのもので白く見える右碑面には

横芝村橋本講中
又、左の碑面には
寛政五癸丑年三月 建之

の文字が刻明という言葉そのままに刻まれています。尚現在の一番下の合座は、河川工事請負をされた成東の佐々木某という人の寄進によるものだという事です。

(この篇取材に当り、正月其他に供物を献じたり、しておられる鈴村屋土屋勝敏氏御一家の協力をいただいたことを書添えます。)

(給食センター小沢所長寄稿)

犬は正しく

飼いましょう

最近、犬による人畜への危害や農作物の被害が非常に多く大変迷惑しています。そのため保健所では、野犬、不用

犬などを一掃するため捕獲の強行および買上げを行っています。特に注意していただきたいのは、飼いだの放し飼いです。飼主は、他人に迷惑をかけるような責任をもって正しく飼っていただきたいと思えます。

1 年二回(春秋)の狂犬病予防注射及び一年一回の登録は必ず受け、適度の運動をさせつないで飼って下さい。

2 生まれて処分に困った仔犬引越し等で処分に困った犬等の不用犬は、大小を問わず一頭五百円で買上げますから松尾保健所まで持参して下さい。

3 もし、犬が人をかんだとき飼主はすぐ保健所へ届け出ること。怠りますと条例により処罰されます。

農業者年金で

豊かな老後を

農業者の皆さん
農業者年金に加入
されましたか?

この農業者年金は、全国の農業者の皆さんの長年のご熱望によってできた制度で、農業者の方々の老後の福祉の向上と農業の近代化を目的としています。

加入資格は、大正五年一月二日以降に生まれた国民年金の加入者で五十アル以上の農業経営主と農業経営主が五

十五才以上の場合は、農業後継者が加入できます。保険料は月額七五〇円で三月ごとにとまとめて納付していただくことになっています。まだ加入手続の済んでいない方は、横芝農協本所・支所へ印鑑持参のうえおいでください。

なお、詳しいことについては、農業協同組合又は農業委員会でおたずね下さい。





公民館だより

明日への活力と

美容のために

パトミントン大会開催

スポーツは、明日への鋭気 適したスポーツですので、こを養い、健康で明るい生活を 近所のお友達、また職場の送るための原動力となりま 友達お誘い合わせて、多数参 中央公民館と婦人会で 加され秋の一日を存分にお楽 は、昨年に引続き第二回の婦 しみくださいませようお知ら 人パトミントン大会を、つぎ せいたします。

十一月十九日(日) のとおり開催いたします。パ トミントンは、誰にも手軽に できる楽しいスポーツです。 特に日頃スポーツに接する機 二、会場 横芝中学校体育館 会の少ないご婦人には、最も 三、チーム編成

建設のあゆみ

10 月 ~ 11 月

完成した事業

- ①道路舗装工事
 - 屋形入間地先 600 m
 - 鳥喰新田地先 1,085 m
 - 栗山〜北清水 (敬愛高校前) 1,515 m
- ②敷地造成工事
 - 栗山分譲地 22,781㎡

着工及び工事中の事業

- ①道路舗装工事
 - 北清水〜鳥喰上 2,667 m
 - 栗山分譲地内道路 4,334㎡

部落又は、職場を単位とし て、二十五才以上三十四才 までの婦人二名、三十五才 以上の婦人四名、計六名に より一チームをつくって下 さい。

四、試合方法

ルールは、日本パトミント ン協会の規則に準じ、トー ナメント方式によりダブル ス三組の対抗戦とし、各組 は一セット七点、三セット マッチで行います。

五、賞

第一位から第三位までのチ ームに賞状並びにトロフィ ーを授与いたします。 (トロフィーは毎回持ち廻 りとします)

六、参加申込み

選手名簿を十一月十二日ま でに、中央公民館事務室ま で提出してください。

七、組合わせ
組合わせ抽せん会は、大会 当日開会式前に行います。

親子ハゼ釣り

大会終る

親子ハゼ釣りの目的を持ち 共に一日を過ごすことによっ て、対話の機会を増し親子の 断絶をなくすることを目的と した、親子ハゼ釣り大会が、 去る十月十五日栗山川口附近 において開催されました。当 日は曇一つない秋晴れの好天 にめぐまれ、三十三チーム八 十五名が参加して釣果を競い ました。

いつもとは立場が変わって、子 どもに叱られながら釣をする お父さんもあれば、家族全員 が参加し、お母さんまで交替 で釣を楽しんだチームもあり ました。又昼食時には堤防に 親子が並び、お母さんの作 ってくれたおにぎりをパクつ いているなど、ほほえましい 光景があららこちらに見られ

気軽に御利用を

よろず法律相談所開く

急速な経済の成長は、私達 の生活の周囲にさまざまな問 題をもたらしいております。 このたび、中央公民館では、 いろいろな問題でお困りの方 々のために、次のとおり、よ ろず法律相談所を開設いたし ますので、現在法律的な問題 等でお困りの方は、気軽にこ ご利用くださいますようお知 らせいたします。

- 一、開設の日時
毎月第一土曜日 午後三時 三十分から(相談を受けよ うとする方は、午後三時ま でに申込んで下さい)
- 二、会場 中央公民館
- 三、相談員
なお、相談の内容や氏名等 については、絶対に外部にも れるようなことはありません ので安心してご相談下さい。

参加した親子にとって楽しい 一日が過ごせたようでした。 なお、大会成績は次のとお りです。

- 優勝 古川 伊藤俊夫親子
 - 準優勝 北清水 秋葉益治親子
 - 第三位上 町 押尾 良親子
 - 第四位上 町 市原 昭親子
 - 第五位本 町 井上 健親子
- 大物賞は、二十センチのハゼ を釣りあげた井上健親子に贈 られました。



自衛官募集

自衛隊では、陸海空自衛 官を募集しています。十八 才以上二十五才までの日本 人男子なら誰でも応募でき 希望する月に入隊できます 詳細は役場総務課へ

- 弁護士 五木田 隆先生
- 四、相談内容
 - 1 土地家屋の売買、賃貸借 境界等に関する事
 - 2 金銭の貸借に関する事
 - 3 財産の相続、贈与等に関 する事
 - 4 交通事故に関する事
 - 5 その他法律的な諸問題

横芝俳壇

横芝句会十月例会

土屋 栗水
秋しぐれくさめ落して宿を立 つ
齊藤ちくろ
門田には二毛作青し柿赤く
宇都木一龍
秋しぐれ過ぎて木の実の色め けり
宇都木吐句志
柿しづく吾子が描きたる絵を 懸けむ
藤代 ゆう
垣越しの柿に葉の副えてあ り
渡辺きよ子
秋しぐれひんやり頬に朝化粧 木下石果子
店頭や柿の秋なる柿溢れ
三枝 句城
コスモスや庭下駄重き病み上 がり
川島 啓明
大枝の無残に割れて秋桜
古谷 紅雲
秋時雨益裁市の人崩る
奥山 萌子
谷に落つ外なき柿の木に残る
佐久間実枝子
白壁や柿の実赤き信州路
次回 十一月四日 一時
中央公民館
兼題 石路の花・文化の日